

早稲田大学 スポーツ科学部 古典 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
出典解題	能狂言大蔵流の狂言太夫大蔵弥右衛門虎明が一子相伝の秘書として、この芸道の精髓に就いて、古来の伝承・事故の体験に基づいて記述したもの。1660年成立。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
(三)	大蔵虎明『わらんべ草』 二 三十三段	<p>530字前後の、早稲田大学の他の学部 に比して短めの文章で、内容・設問共に、 全体として、決して難解なものではな かろう。</p> <p>問十四は漢文の知識というよりも、一 般常識を問う設問といえよう。</p> <p>問十六・十七では文法の問題が問われ るが、きわめて基本的で選択肢に「ひね り」もない。</p> <p>問十九の内容と合致しないものを選 ぶ設問も、合致する選択肢の内容を本文 中に見つけやすいので、易しい設問とい えよう。</p> <p>問十三のD・問十五に漢文の知識を問 うものの、これとてさして難解とはいえ ない設問である。</p>	易～標準